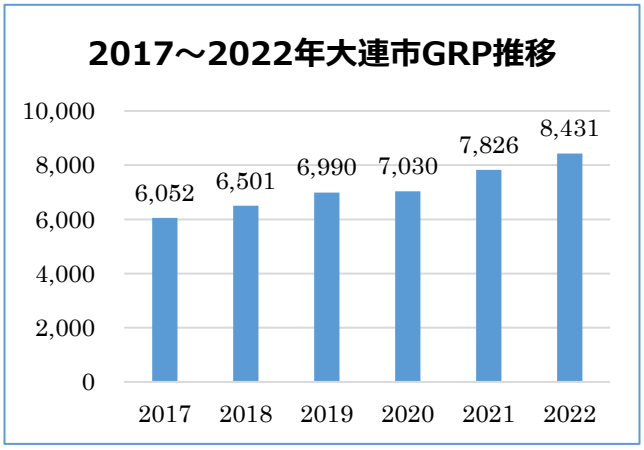
| 海外レポート | 中国　大連 |
|---|---|

# 2022 年の域内総生産（GRP）が初の 8,000 億元を突破

趙　万利

大連市統計局は、2022 年の大連市の経済状況について発表しました。2022 年の大連市の域内総生産（GRP）は 8,430.9 億元（1 元=19.23 円）で、前年比 4%の増加、中国の全国平均水準より 1 %高い結果となりました。第一次産業の付加価値額は 563 億元で前年比 3.2%増、第二次産業の付加価値額は 3,712.5 億元で前年比 4.5%増、第三次産業の付加価値額は 4,155.4 元で前年比 3.7%増でした。




【参照：中商情报网（askci.com)】

**＜工業生産は安定、ハイテク製造業はより高い成長率＞**

2022 年における大連市の軽工業の付加価値額は前年比 4.7%増、重工業は前年比 9.8%増でした。

主要産業のうち、石油化学工業の付加価値額は前年同期比 13.3%増、設備製造業の付加価値額は 0.5%増、医薬品工業の付加価値額は 7%増、農産物加工工業の付加価値額は 0.1%減となりました。ハイテク製造業の付加価値額は前年同期比 15.4%増加し、全国の 8%ポイントを上回りました。

主要なカテゴリーからみると、製造業の付加価値額は前年同期比 5.8%増加し、電気・熱・ガス・水の生産および供給業は 2.4%減少しました。

企業形態からみると、国営企業の付加価値額が前年同期比 7.2%増、株式会社が 7.5%増、私営企業が 5.8%増、外国及び香港・マカオ・台湾投資企業が 1.1%増となりました。

製造品出荷額では、都市鉄道車両が前年同期比 224.3%増、工業計器が 41.8%増、リチウムイオン電池が 28.9%増、CNC 金属切断工作機械が 6.7%増でした。

**＜固定資産投資とハイテク投資の成長力が目立つ＞**

年間を通じて、市の固定資産投資（農家を除く）は前年比 6.5%増となり、前年より 5.3 ポイント、全国平均水準より 1.4 ポイント高くなりました。

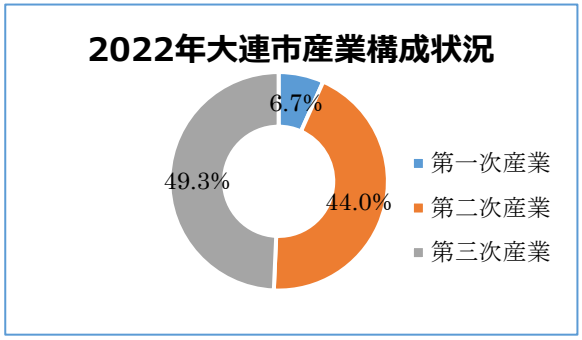
部門別では、インフラへの投資が前年比 28.4%増、製造業への投資が同 43.2%増、不動産開発への投資が同 16.5%減でした。

産業別では、第一次産業への投資が前年同期比 7.1%減、第二次産業への投資が同 10.5%増、第三次産業への投資が同 5.1%増。民間投資は前年同期比 7.2%増でした。ハイテク産業への投資は前年同期比 24%増で、ハイテク製造業への投資は 6%増、ハイテクサービス業への投資は 97%増でした。

**＜消費財市場は順調に回復＞**

2022 年の大連市年間の消費財小売売上高は 1,846 億 9,000 万人民元で、前年比 3.3%減となり、減少率は 2 期連続で縮小しました。消費の種類別では、商品の小売売上高は 1,720 億 5,000 万元で前年比 3%減、レストランの売上高は 126 億 4,000 万元で前年比 7%減。次世代型商品のうち、新エネルギー自動車の小売販売台数は 1.6 倍、エネルギー効率レベル 1、2 の家庭用電気製品、AV 機器の小売販売台数は 1.4 倍、カメラの小売販売台数は 63.3%の増加でした。

ゼロコロナ政策を転換した今年（2023 年）は、各種データはさらなる成長が期待されており、特に消費財市場はコロナ禍以前を上回る回復が期待されています。




【参照：中商情报网（askci.com)】

| | |
|---|---|
| 第一次産業： | 農業（林業、畜産業、漁業等を含む。） |
| 第二次産業： | 工業（採取産業、製造業、水、電気、蒸気、温水、ガスを含む）、建設業など |
| 第三次産業： | 上記の第一次産業および第二次産業以外のすべての産業。 |

参考資料：（以下中国語記事）

市統計局　2022 年の経済状況に関するメディアブリーフィングを開催

大連市が 2022 年の経済データを発表　GRP が初めて 8,000 億元を突破

2022 年　大連経済の分析